



華麗なる図書館利用者のための

Cool Librar

クールリブラ

講座

カジのうら若き青春黙示録

文/カジ

ドラフト会議といえば…

もちろんパンチョ伊藤だ。図書館読者世代は、ほとんど知らないであろうが、カジを含む昭和世代からすれば、ドラフト=パンチョという方程式がすんなり浮かんでくる。「オリックス、佐藤和弘、外野手、熊谷組」といえば、泣く子も黙る名フレーズ。詳しくは、お父さんに聞け!

千絵「じゃあその隣にしようっかな☆」

カジ「いいの?」

千絵「カジくんはいいの?」

カジ「せひー」

千絵「じゃあそうしよー」

欣喜雀躍、満漢全席の展開である。学園のアイドル千絵ちゃんが、学園のボンコツ生徒カジの隣の席を希望している! 某平泳ぎ金メダリストの言葉を借りれば、まさに「今まで生きてきた中で一番幸せです」的なアレだ。

だが、実際に席が決まるまで油断はできない。多くの男子が千絵ちゃんの隣の席を狙っているのだから…

あいつもこいつもあの席をただ一つ狙ってるんだわ

このクラスで一番の美人の隣を〜♪(2回目)

「前回までのあらすじ」

学園のアイドル千絵ちゃん隣の席で毎日過ごせる! 学校嫌いのカジ少年(中二)に突如訪れた幸せも、担任の「毎月席替えしよう」発言により一転窮地に。千絵ちゃんの隣の席を死守するため、「斬新な方法で席替えをしたい」と提案したカジであったが…

「何か面白いやり方があるのか?」

担任の問いにしばし固まるカジ。そりやそうだよ、ノープランだもん。そして、足りない頭をフル回転させて出した答えは…

「ドラフト席替えです!」

よくわからない提案にざわつく教室。その場の思いつきにもかわらず、すっと温めてましたとばかりに説明を始めるカジ。その方法は、

- ①黒板に全席の配置を書いて、各自希望の席に名前を書く。
- ②希望者が1人だけなら決定。
- ③それを2巡、3巡と繰り返す。
- ④全員決まれば終了。

なるほど、プロ野球のドラフト会議風の席決めだ。クラスメイトは戸惑いながらも「なんか面白そう」という極めてゆるいノリで賛同。どうせなら今からやろうということになり、学級委員が黒板に席を書きだし始める。そしてこの瞬間、カジがやるべきことはただひとつ、千絵ちゃんがどの席にするかを聞き出すことだ!

「プリントの裏に」どこの席にするの?」

千絵「う〜んどっしよう。カジくんは?」

カジ「怒険とかかな」

